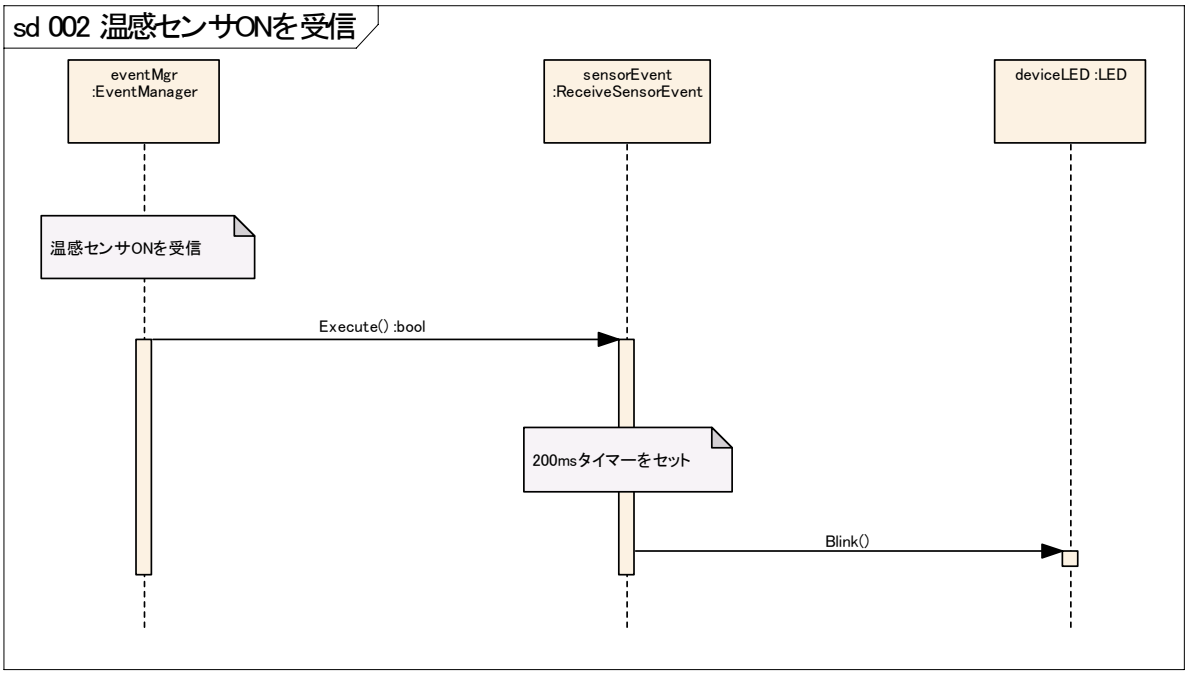
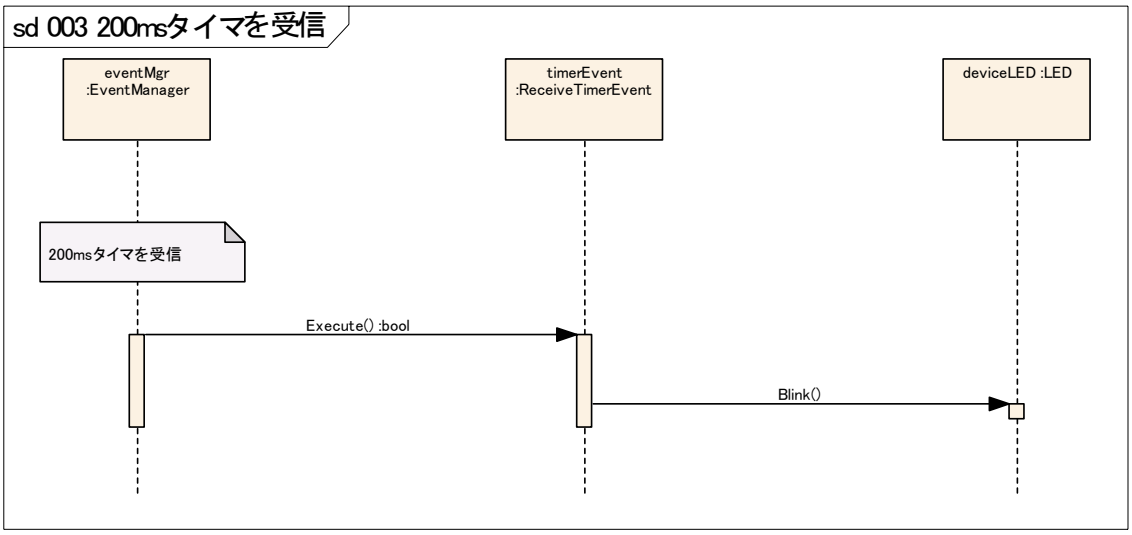


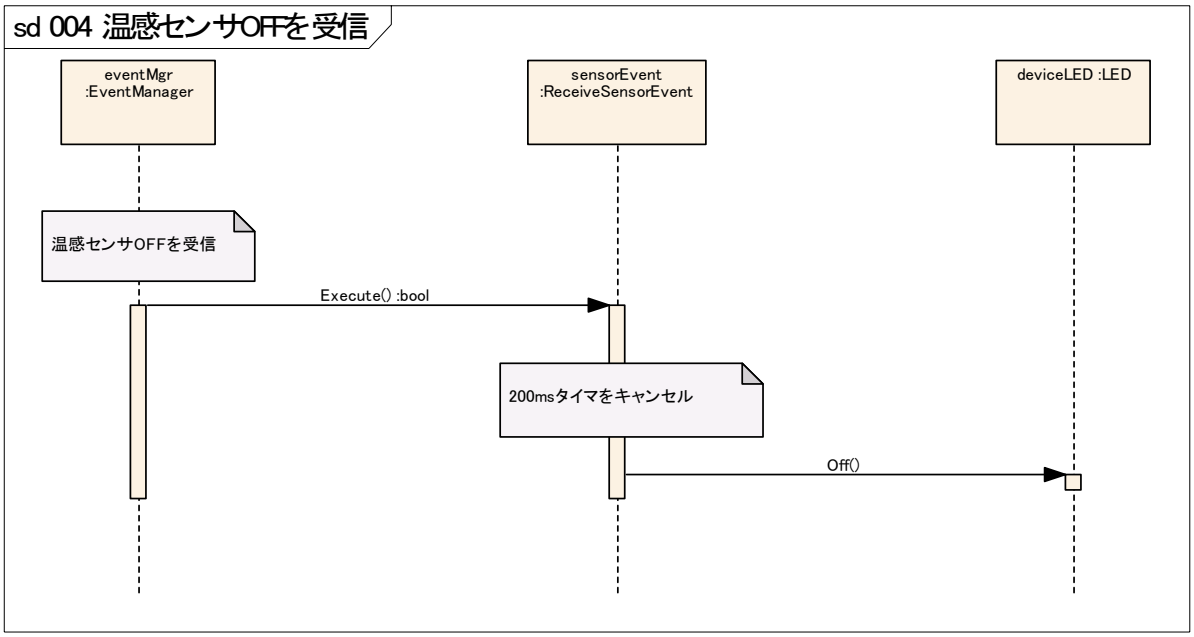
センサーON を受信

センサーON を受信したら，sensorEvent インスタンスの Execute メソッドをコールします．Execute メソッドで 200ms タイマをセットし，LED の点滅を開始します．「センサ ON の受信」は，具体的には OS のメッセージ・キュー機能や，割り込みを利用しますが，設計クラス図とシーケンス図ではあえて特定せず，実装フェーズで決定します．



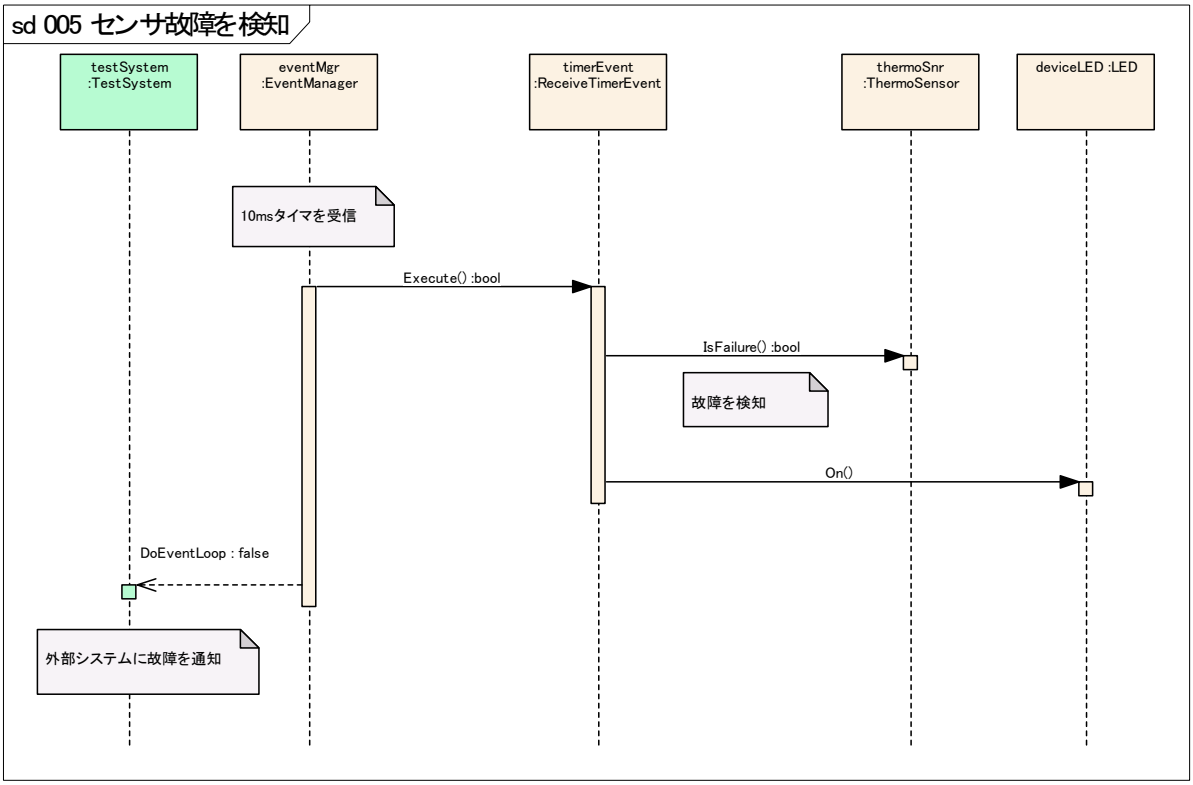
200ms タイマを受信

200ms タイマを受信したら，timerEvent インスタンスの Execute メソッドをコールします．Execute メソッドで LED の ON/OFF をトグルします．「200ms タイマの受信」も「センサーON の受信」と同様に，設計フェーズではあえて特定せずに，実装フェーズでの自由度を高めます．



センサーOFF を受信

　センサーOFF を受信したら，sensorEvent インスタンスの Execute メソッドをコールします．Execute メソッドで 200ms タイマをキャンセルし，LED を強制 OFF します．



センサ故障を検知

10ms タイマを受信したら，timerEvent インスタンスの IsFailure メソッドをコールします．結果が true ならば何もせずに次のイベント待機になりますが，false ならば LED を強制 ON してイベント処理結果を false にし，testSystem インスタンスに false で返します．DoEventLoop メソッドが false になったため，testSystem インスタンスは，外部のシステムに故障したことを通知します．設計フェーズでは，タイマを 200ms と 10ms に分けて記述していたり，ハード・タイマかソフト・タイマかの区別が付かなかったりしますが，本システムの設計フェーズにとっては大きな意味を持たないので，実装フェーズに任せます．